

✓ 日ごろの備えを確認しましょう！

チェックしましょう 確認できたらチェック！

- 自宅周辺の危険な箇所を確認しましたか？
- 避難所と避難経路を確認しましたか？
- 災害時の家族との連絡手段や避難先の確認はできていますか？
- 住まいの安全性を確認しましたか？
- 非常持出品を用意しましたか？
- 防災メールの登録をしましたか？

非常持出品、備蓄品を用意しましょう！

非常持出品は、必要最低限におさめることが大切です。持出品が重すぎるとスムーズに避難できなくなります。また、乳児(オムツや粉ミルク等)や、高齢者世帯(常備薬等)など、各家庭の事情に応じて準備しておくことが大切です。

必ず用意しておくもの

非常持出品 災害発生時に最初に持ち出すもの

- 飲料水(500mlペットボトル2本)
- 非常食(乾パンなど火を通さなくてもいいもの)
- 懐中電灯
- 携帯電話(充電器)
- 貴重品(小銭も)
- 雨具
- モバイルバッテリー
- 携帯ラジオ
- 医薬品(常備薬)
- おくすり手帳
- 衣類、下着
- 乾電池 など



備蓄品 救援物資が届くまでの生活をするためのもの

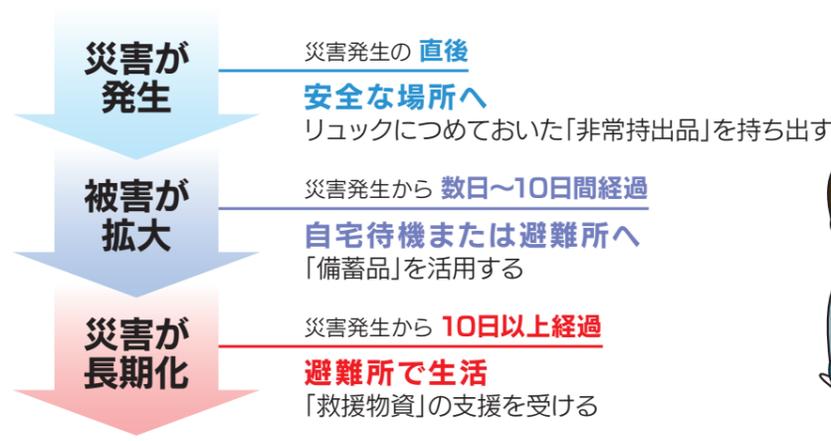
- 飲料水(1日3ℓ/人を目安)
- 保存可能な食料
- カセットコンロ
- ウエットティッシュ
- タオル
- 毛布
- 携帯トイレ など

少なくとも7日間の食料、3日間の水を用意しましょう！

※家族の人数を考慮



時間の経過で見る生活必要物資



いわき市 防災マップ

令和元年度
— 常磐地区 —



- このマップは、津波ハザードマップや洪水ハザードマップのほか、土砂災害警戒区域に関する情報などを地区ごとにまとめたものです。
- 図面を見やすいところに貼り、近所の避難所や避難経路を把握しておくなど、お住まいの周辺について情報の確認等にお使いください。

▼ わが家の避難所

情報の収集に努めましょう!

テレビやインターネット、市から発信される情報に注意しましょう。



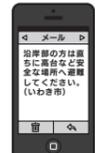
テレビ



ラジオ



インターネット



携帯電話・スマートフォン



広報車・防災行政無線

いわき市防災メールに登録 (登録無料)

iwaki@entry.mail-dpt.jp

→ 上記アドレスに空メールを送信してください
防災・気象・火災・防犯など緊急情報をメールで配信します。



QRコード

※迷惑メール設定をされている方は、「city.iwaki.fukushima.jp」からのメールを受信可能に設定してください。

「浸水想定区域」や「土砂災害警戒区域」等の情報は、
いわき市公式ホームページからも確認できます!

▶ いわきiマップ (いわき市公開型地図情報システム)



災害時は次のことに注意しましょう!



洪水

- 大雨時は、河川が急激に増水します。河川や水路には近づかないようにしましょう。
- アンダーパス (地下道) など冠水しやすい場所に注意してください。

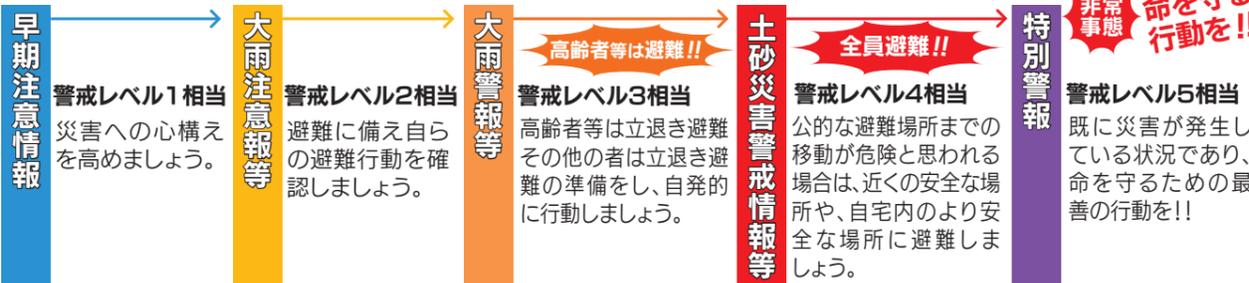


土砂災害

- 身の周りにある「土砂災害警戒区域」や「土砂災害危険箇所」などに注意しましょう。
- 大雨の際や、土砂災害警戒情報が発表された場合、早目の避難を心掛けましょう。
- 土砂災害の前兆現象を見かけた場合、速やかに避難しましょう。



気象情報発表の流れ (例: 洪水・土砂災害の場合)



地震・津波

- 地震が起きたら、頭部を保護するなど、まず身の安全を確保してください。
- 津波警報が発令された場合、サイレンが鳴ります。直ちに避難しましょう。
- 津波は予想外に高くなる場合があります。より遠く高い所へ避難しましょう。



早めの避難を心がけましょう!

避難に関する3つの情報

避難情報は、テレビ・ラジオ、防災行政無線、防災メールなどでお知らせします。

避難準備・高齢者等避難開始

※警戒レベル3



- 人的被害の発生する危険性が高まった状況です。
- 避難に時間がかかる高齢者などは避難を始めてください。
- 通常の避難行動ができる人は、家族との連絡、非常持出品の用意など避難の準備を始めてください。

避難勧告

※警戒レベル4



- 人的被害の発生する可能性がさらに高まった状況です。
- 指定された避難所などに避難を始めてください。

避難指示 (緊急)

※警戒レベル4



- 人的被害の発生する危険性が非常に高まった状況、あるいはすでに人的被害が発生した状況です。
- 対象地域の方は避難を完了していただければなりません。
- まだ避難していない方は直ちに避難してください。

近所への声かけ

皆さんの周りには、お年寄りや体が不自由な方など、1人では避難が困難な(またはできない)方がいるかもしれません。住民の皆さんが確実に避難するためには、地域での助け合いが不可欠です。



家族との連絡方法、集合場所を決めておきましょう!

災害時、最も心配になるのは家族の安否です。東日本大震災では、通信回線がつながりにくくなり、安否確認に手間取るケースが多くありました。複数の通信手段を使うことにより、連絡がとれる確率が高まります。また、災害時における家族の集合場所などをあらかじめ話し合っておきましょう。

災害用伝言サービス

震度6弱以上の地震などの大規模災害時には、NTT災害用伝言ダイヤルや携帯電話会社の災害用伝言板サービスが利用できます。

NTT災害用伝言ダイヤルの使い方

step.1 **171** 声を残す・声を聞く
携帯電話や公衆電話からかけられます

step.2 伝言を録音する場合は**1**、再生する場合は**2**を入力

step.3 固定電話の番号を入力
市外局番 市内局番 お客様番号
0 2 4 6 - X X - X X X X

step.4 ガイドンスに従い録音または再生
※録音は30秒以内

●電話番号の入力について【市外局番から】
●携帯電話の番号やIP電話の番号は【登録には使えません】

主な携帯電話の災害用伝言板サービス

- 携帯電話やスマートフォンから安否情報の登録・確認ができます。
- NTTドコモ <http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>
 - au <http://dengon.ezweb.ne.jp/>
 - ソフトバンク <http://dengon.softbank.ne.jp/>
 - ワイモバイル <http://dengon.ymobile.jp/info/>

